

2013 年 12 月 20 日

## 米海軍第 5 艦隊司令官（兼 CMF 司令官）との懇談会の模様

12 月 18 日（水）、当協会会議室において朝倉会長と米海軍第 5 艦隊司令官のジョン・ミラー中将との懇談会が開催された。

朝倉会長からは、アデン湾やアラビア海、インド洋などにおける連合海上部隊（CMF）\*の海賊対処活動により、海賊事件発生件数が大幅に減少していることに対して謝辞を申し述べた。また、中東は、わが国が輸入する原油の 80%以上を占めるなど、わが国経済にとって必要不可欠なエネルギー資源の多くを依存する極めて重要な地域であることから、引き続き同地域およびホルムズ海峡における船舶航行の安全にご尽力願いたい旨、要請した。

これに対して、ミラー中将からは、海賊攻撃に備えた商船の自衛措置などを勧告する BMP\*\*の作成も含め、海運業界とは密接に協力する体制が出来ていることを評価するとともに、今般、海上自衛隊の護衛艦が CMF の傘下にある第 1 5 1 連合任務部隊（CTF-151）に参加したことを歓迎するとの発言があった。また、中東地域の重要性については、日本のみならず世界各国が認識しており、今後とも世界各国と協力して地域の安定に貢献したいとの決意が述べられた。さらに、ペルシャ湾に就航する船舶の安全を確保する観点から、CMF と日本の海運業界との間で信頼関係の醸成が有益であると述べられた。

なお、同懇談会には、海上幕僚監部・山下防衛部長、外務省海上安全保障対策室・小林室長他が参加し、1 時間に亘って幅広い意見交換が行われた。

\* : CMF : Combined Maritime Force

\*\* : BMP : Best Management Practices



(参考)CMF(連合海上部隊)

